

－女性のお金と投資に関する意識調査－

## 貯金額の理想と現実、約2倍のギャップあり

投資女子の7割以上が「マイナス金利の導入」で投資への興味が増加。

不動産投資女子に対するイメージは、  
「経済的に豊かで余裕がある」や「知識や情報収集力があって賢い」など。  
～不動産投資を始めた人の9割以上が「始めて良かった」と実感～

インヴァランスでは、マイナス金利の導入から3ヶ月が経過したことを受け、「女性のお金と投資に関する意識調査」を実施いたしました。なお本調査は、2016年5月26日(木)から5月27日(金)までの期間、調査会社によるインターネット調査により、全国の20～39歳で不動産投資に関心のある、社会人の女性600名に対してアンケートを行いました。

### 調査結果概要

不動産投資に関心のある女性の平均月収は「約36.5万円」。  
さらに1ヶ月の平均貯金額は「約6.5万円」、現在の貯金平均は「約548万円」。  
一方、1ヶ月あたりの理想の貯金額は平均「約12.5万円」で、  
理想と現実に約2倍のギャップがあることが判明。

投資女子の7割以上が「マイナス金利の導入」を機に、投資への興味が増加。  
また、半数以上が投資目的は「老後の生活費のため」と回答する結果に。

不動産投資に興味を持った理由、第1位は「副収入を得たいから」  
次いで「安定した資産運用をしたいから」と安定的なイメージあり。  
興味を持っているものの、実行を踏み留まっている人は約9割で、  
実行できない理由は7割以上が「資金・知識不足」と回答。

女性が憧れる投資方法、第1位「不動産投資」第2位「株式投資」。  
女性が持つ不動産投資に対するイメージは「長期的な投資ができる」が多数。  
～不動産投資を行っている女性に対しては、「経済的に豊かで余裕がある」や  
「知識や情報収集力があって賢い」というイメージを持っていることが判明。～

不動産投資を始めた人の9割以上が「始めて良かった」と回答。  
理由は「安心して投資が出来る」や「長期的な投資ができる」「収益が安定している」など。

不動産投資を行っている人の約8割が「相談相手があった」と回答。  
具体的な相談相手は「両親」が最も多い結果に。

※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「インヴァランス調べ」と明記ください。

## Point1 働く女性の収入と貯金額

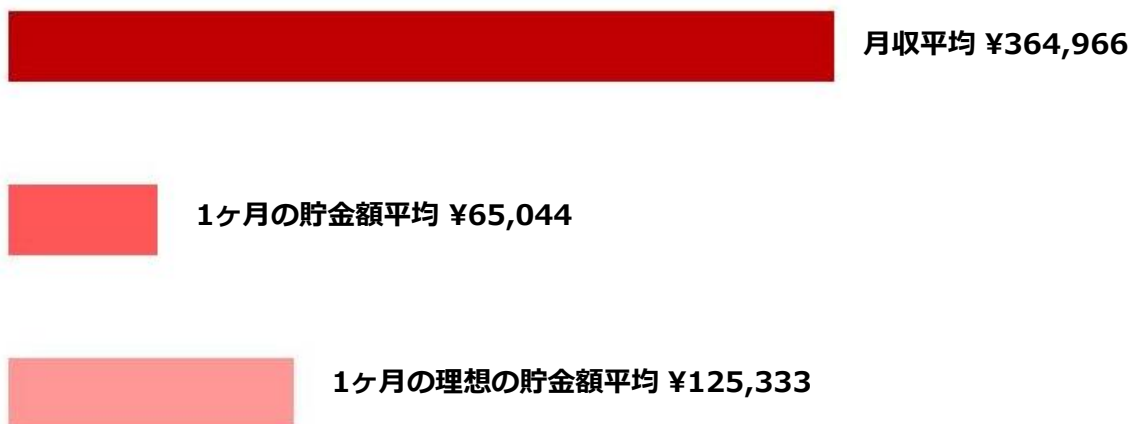
不動産投資に関心のある女性の平均月収は「約36.5万円」。さらに1ヶ月の平均貯金額は「約6.5万円」、現在の貯金平均は「約548万円」。一方、1ヶ月あたりの理想の貯金額は平均「約12.5万円」で、**理想と現実に約2倍のギャップがあることが判明。**

全国の不動産投資に関心のある20代～30代の女性に対し、平均月収、1ヶ月あたりの貯金額、1ヶ月あたりの理想の貯金額を質問したところ、平均月収は、約36.5万円、1ヶ月当たりの平均貯金額は約6.5万円ということが判明しました。一方、1ヶ月あたりの理想の貯金額は約12.5万円となり、理想と現実に約2倍のギャップがあることが判明しました。

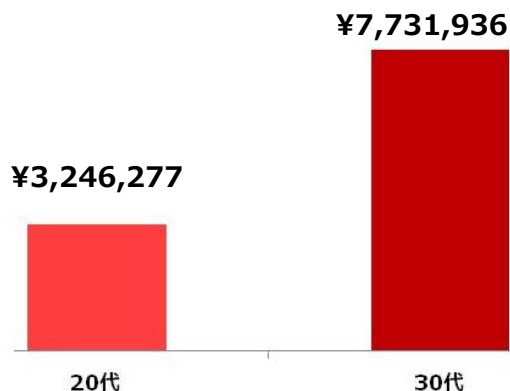
また、不動産投資に関心のある20代の社会人女子の平均貯金額は、約325万円、30代では、約773万円という結果となりました。全国の20代の社会人女子の平均貯金額は、249万円、30代では約603万円※であることから、不動産投資に関心のある女性の、お金の運用の上手さが伺える結果となりました。

※転職サイトDODAの2014年発表データより引用

Q：平均月収と、1ヶ月の平均貯金額、1ヶ月の理想の貯金額を教えてください。（n=600）



Q：現在の貯金額を教えてください。（n=600）



※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「インヴァランス調べ」と明記ください。

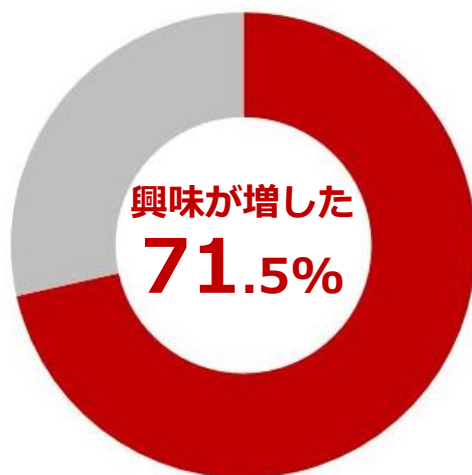
## Point2 投資女子の関心理由

**投資女子の7割以上が「マイナス金利の導入」を機に、投資への興味が増加。  
また、半数以上が投資目的は「老後の生活費のため」と回答する結果に。**

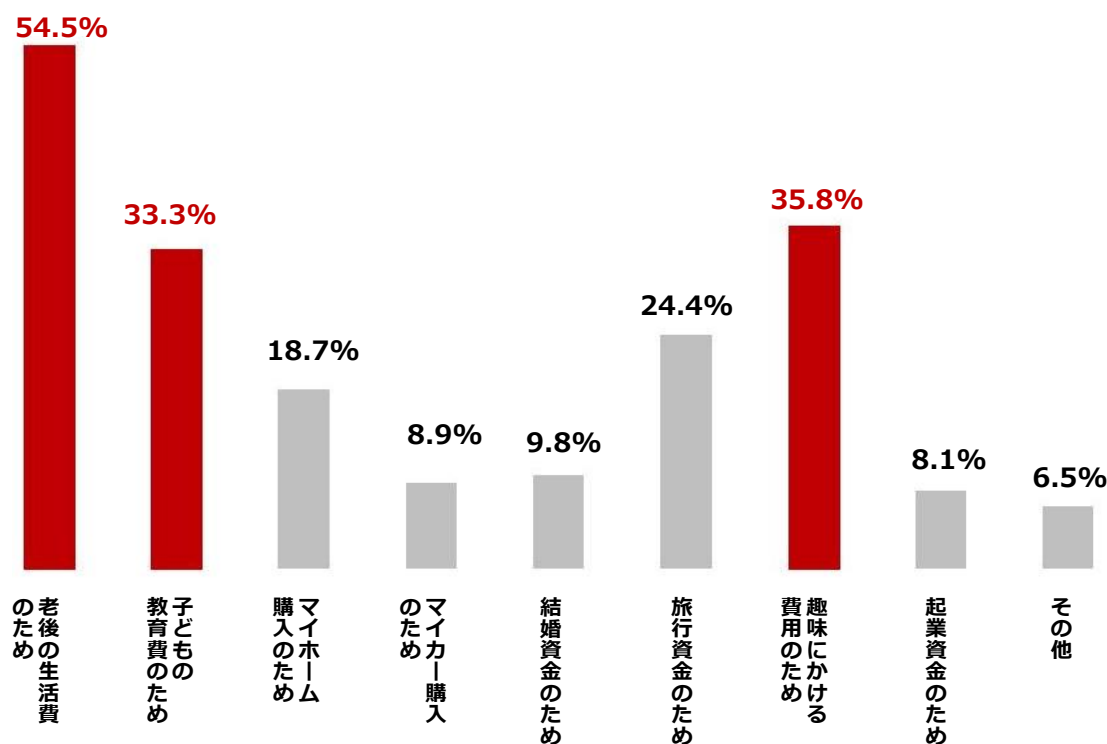
全国の不動産投資に関心があり、かつ「投資派」の20代～30代の女性に対し、「マイナス金利の導入を機に、貯蓄よりも投資への興味が増しましたか？」と質問したところ、71.5%が投資に興味を示していることが判明しました。

さらに、投資の目的を聞いたところ、54.5%が回答した「老後の生活費のため」が第1位、35.8%が回答した「趣味にかける費用のため」が第2位、33.3%が回答した「子どもの教育費のため」が第3位という結果になりました。

Q：マイナス金利の導入を機に、貯蓄よりも投資への興味が増しましたか？（n=123）



Q：あなたの投資目的は何ですか？（n=123）



※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「インヴァランス調べ」と明記ください。

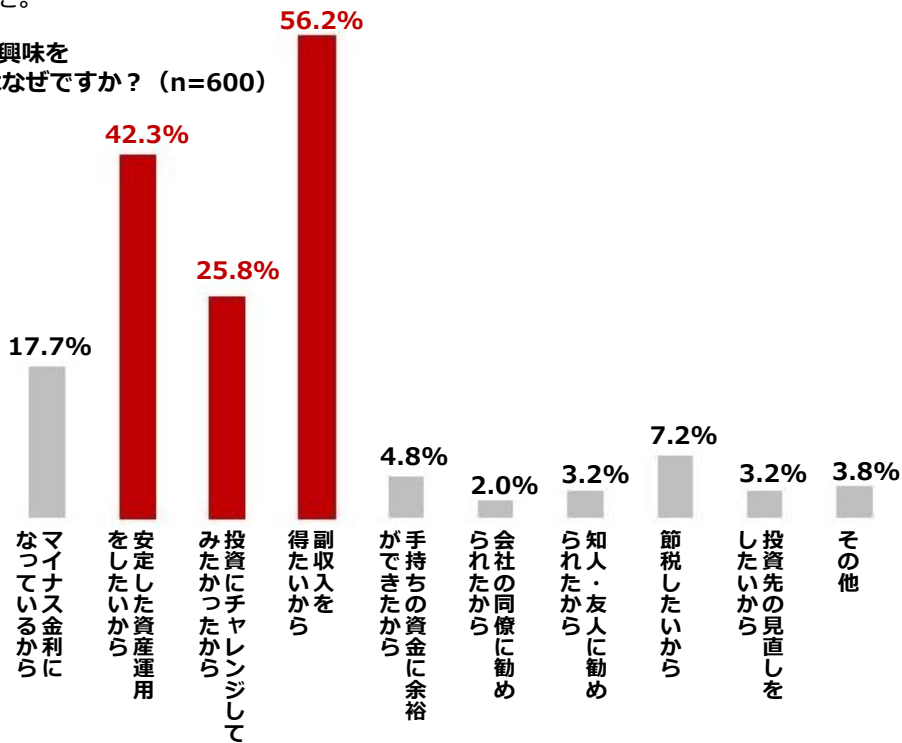
### Point3 不動産投資への関心理由と懸念点

不動産投資に興味を持った理由、第1位は「副収入を得たいから」  
次いで「安定した資産運用をしたいから」と安定的なイメージあり  
興味を持っているものの、実行を踏み留まっている人は約9割で、  
実行できない理由は7割以上が「資金・知識不足」と回答。

全国の不動産投資に関心のある20代～30代の女性に対し、不動産投資に興味を持った理由を質問したところ、第1位は56.2%が回答した「副収入を得たいから」、第2位は42.3%で「安定した資産運用をしたいから」、第3位は25.8%で「投資にチャレンジしてみたかったから」という結果になりました。

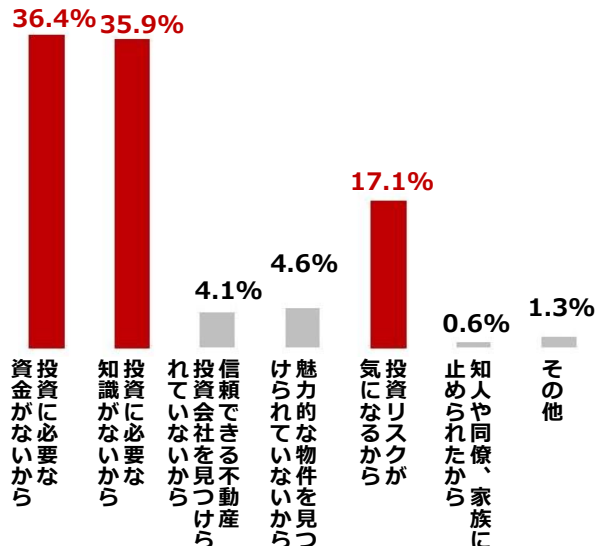
一方、「あなたは現在、不動産投資をしていますか？」という質問には全体の89.7%が「していない」と回答し、理由としては、「投資に必要な資金がないから」が36.4%、「投資に必要な知識がないから」が35.9%で、不動産投資に興味があるものの、実行に移せない原因の多くが「資金・知識不足」であることが判明しました。

Q：不動産投資に興味を持った理由はなぜですか？ (n=600)



Q：現在、不動産投資をしていますか？ (n=600)

Q：興味はあるものの、不動産投資を行っていない最も大きな理由を教えてください (n=538)



※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「インヴァランス調べ」と明記ください。

## Point4 女性が抱く、不動産投資に対するイメージ

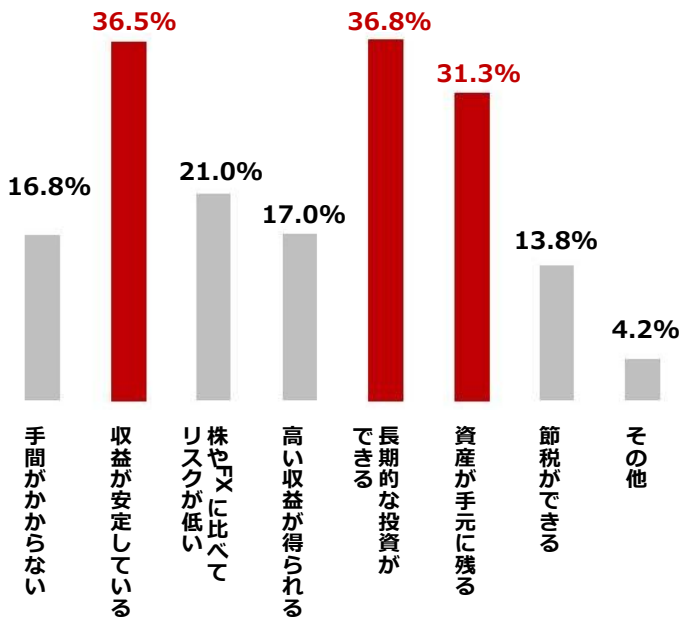
女性が憧れる投資方法、**第1位「不動産投資」**第2位**「株式投資」**。  
 女性が持つ不動産投資に対するイメージは**「長期的な投資ができる」**が多数。  
 ～不動産投資を行っている女性に対しては、「**経済的に豊かで余裕がある**」や  
**「知識や情報収集力があって賢い」**というイメージを持っていることが判明。～

全国の不動産投資に関心のある20代～30代の女性に対し、「不動産投資に対してどのようなイメージを持っていますか？」と質問したところ、第1位は36.8%の人が回答した「長期的な投資ができる」、第2位は36.5%で「収益が安定している」、第3位は31.3%で「資産が手元に残る」という結果となりました。

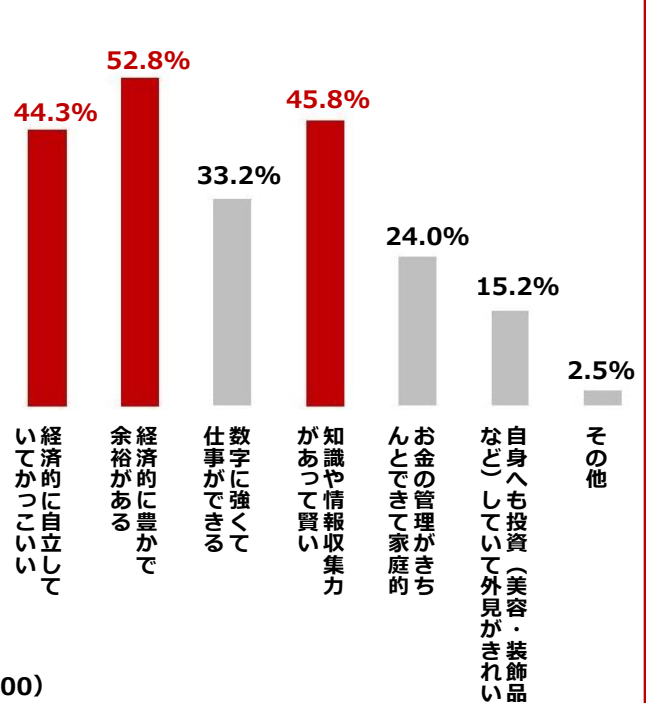
また「不動産投資を行っている女性に対してどのようなイメージを持っていますか？」という質問をしたところ、第1位は、52.8%で「経済的に豊かで余裕がある」、第2位は、45.8%の「知識や情報収集力があって賢い」、第3位は、44.3%の「経済的に自立してかっこいい」と分かりました。

また、「自分もチャレンジしてみたい憧れの投資先は何ですか？」と質問したところ、第1位「不動産投資」第2位「株式投資」という結果となりました。

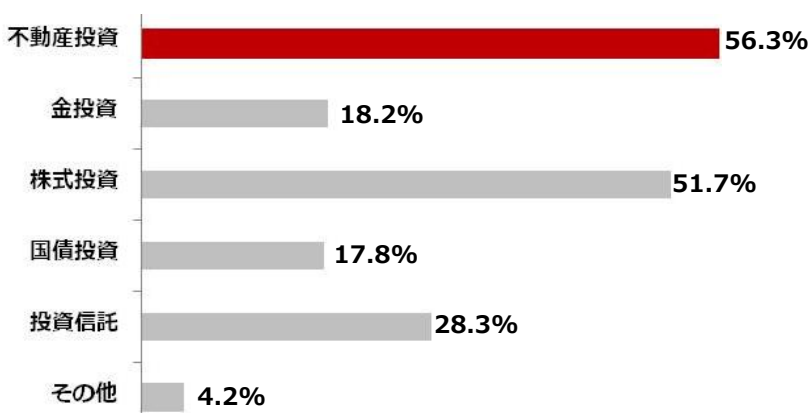
Q：不動産投資に対してどのようなイメージを持っていますか？  
 (n=600)



Q：不動産投資を行っている女性に対してどのようなイメージを持っていますか？ (n=600)



Q：自分もチャレンジしてみたい憧れの投資先は何ですか？ (n=600)



※調査結果をご利用いただく際は問い合わせ先にご連絡の上、必ず「インヴァランス調べ」と明記ください。

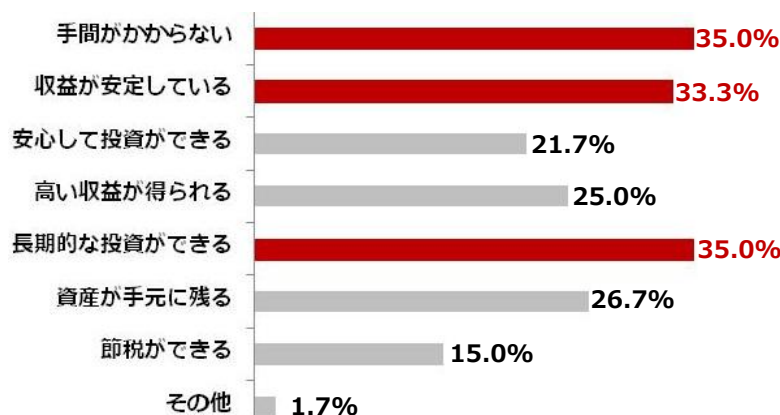
## Point5 不動産投資の魅力・相談相手

不動産投資を始めた人の9割以上が「始めて良かった」と回答。理由は「安心して投資ができる」や「長期的な投資ができる」「収益が安定している」など。

全国の不動産投資を行っている20代～30代の女性に対し、「不動産投資を始めて良かったと思いますか？」と質問したところ、96.7%の人が、始めて良かったと回答しており、その理由としては、「手間がかからない」と「長期的な投資ができる」が同率で35.0%、「収益が安定している」が33.3%となり、不動産投資の魅力が浮き彫りとなる結果になりました。

Q：不動産投資を始めて良かったと思いますか？（n=62）

Q：不動産投資を始めて良かったと思う理由はなぜですか？（n=60）



不動産投資を行っている人の約8割が「相談相手がいた」と回答。具体的な相談相手は「両親」が最も多い結果に。

全国の不動産投資を行っている20代～30代の女性に対し、「不動産投資に関して、あなたの周囲に相談できる相手はいましたか？」と質問したところ、全体の約8割が「相談相手がいた」と回答しました。相談相手としては、「両親」が36.7%、「パートナー（恋人または配偶者）」が34.7%、「会社の上司」が22.4%という結果となりました。

Q：不動産投資に関して、不動産投資会社以外であなたの周囲に相談できる相手はいましたか？（n=62）

Q：具体的な相談相手を教えてください。（n=49）

